学生の体験談（授業）

（平成30年度入学者）

基幹教育セミナーを受講して

工学部地球環境工学科
大樂　一史

基幹教育セミナーは私にいろんな刺激を与えてくれた。私はこの授業が始まる当初、基幹教育セミナーの内容はおろか、大学で具体的にどのようなことをするのかすら全然つかめていなかった。ほかの人の考えに耳を傾ける余裕もなかったと思う。そのため、まず行われたグループワークで聞いた他学部他学科の人達の話はとても新鮮だった。そこで自身の見識を広げられたようにも感じた。そして「自身にとっての『学び』」について考えたとき、同時に自分の学科ややりたいことについて本気で考える機会を得た。具体的な目標がほぼまったく決められていなかった私にとっては非常にいい機会だった。

自己実現のために座学で得る知識はもちろん必要ではあるが、そこでは得られないものもあり、基幹教育セミナーでそれを余りあるほど補うことができたように感じる。

学生の体験談（授業）

（平成30年度入学者）

基幹教育セミナーを受講して

文学部
高橋　義輝

私は、基幹教育セミナーはとても有意義なものだったと思う。講義は主にグループ活動形式で行われ、周りの人達とコミュニケーションを取りながら、自らの考えを深めることができた。そして、自分にとっての「学び」をしっかり考えることを通して将来のビジョンやそこまでの道筋を明白にすることができた。また、私は今までの人生の中でパワーポイントを使って人にプレゼンするという経験は数えるほどしかなかったため、今回の発表はとても貴重な経験になった。他学部の人達の発表や考えを聴く経験も貴重なもので、自分の知らない分野の話を聴くのは非常に興味深かった。まとめると、今回の基幹教育セミナーを通して私は自分にとっての「学び」について整理でき、また様々な人の考えを聴く大切さ・面白さを学んだ。今回の経験は今後の大学生活において、きっと価値あるものになると思う。

学生の体験談（授業）

（平成30年度入学者）

課題協学を受講して

工学部エネルギー科学科
伊藤　魁星

課題協学という九州大学独自の科目は、様々な学部を混合し、それを複数のグループに分け、そのグループごとに与えられた課題に協力して取り組むというものです。この科目の最大の特徴はやはり複数の学部が一緒になって課題に取り組むという点だと思います。普段は同じ学部の人と一緒に学習しているため、他の学部の学生と意見を交わすことで、様々な価値観に触れることができ、自分自身の視野を広げることができると思います。また、グループの分け方に関しては、事前に希望調査が行われるため、あまり興味のない内容の課題に取り組まなければならないという状況に陥る心配もありません。課題協学は非常に充実した科目であり、取り組み方次第でとても良い経験になると思います。

学生の体験談（寮生活）

（平成30年度入学者）

寮生活体験談

医学部保健学科看護学専攻
林　みなみ

私はドミトリー2に住んでいましたが、ドミトリーや協奏館の良いところは、何よりも家賃の安さと大学への近さだと思います。学内の学生寮の家賃は建物によって違いますが、最高でも3万円（光熱費を除く）という破格です。また、大学（の教室）へは徒歩10分。授業開始10分前に家を出るドミトリー生も多いです。近くにスーパーが無いのが短所かもしれませんが、学内の生協やコンビニではある程度のものが揃うし、自転車や原付などがあれば多少の買い物も苦になりません。また、ドミトリー生同士の交流もたくさん行われているので、多くの学部・学年・国籍の友人を作りたい人にぴったりの寮だと思います。募集も春と秋の2回行われていますので、今のお部屋が合わないという方、友達がもっと欲しいという方、ドミトリーという選択肢はいかがでしょうか？

学生の体験談（寮生活）

（平成30年度入学者）

寮生活体験談

大学院人間環境学府（研究生）
方　淵

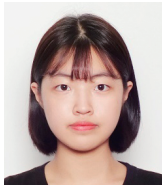
新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私はドミトリーⅠ（1人部屋）に住んでいます。部屋の中に何でもあります。たとえば、冷蔵庫、エアコンです。各階にコモンルームがあり、そこでは勉強をしたり、友たちと喋ったり、テレビを見たりできます。また、教室、図書館、食堂などは、いずれも近いです。しかし、近くにスーパーがないので買い物が不便です。もし、自分が炊事をするなら、食材を調達することが少し大変なので、自転車があると便利です。そして、部屋は隣の人が大きな声で話している場合は、少し音が聞こえたりしますので、隣の人を邪魔しないようにご注意ください。以上の内容は私の外国寮生活体験で、少しでも皆さんの役に立てればと思っています。大学生活を楽しんでください。

学生の体験談（留学生）

（平成30年度入学者）

留学生体験談

学部生　共創学部　共創学科
朴　世暎（パク セヨン）



福岡に来たばかりのころは私が九州大学で日本人と仲良くできて、一緒に勉強できるのかなという不安がありました。しかし、九州大学での1年間を過ごした今は、過去の自分を安心させたいという気持ちでいます。留学生は日本人の学生と一緒に授業を受け、勉強します。ここで留学生と日本人の学生との違いは全くないので、日本人と触れ合う機会が多く、日本語の能力もつき、友達もできました。学校の中ではSALCという他の留学生との交流できるところがあるため、日本人と他国の様々な友達と交流する機会があります。そこで私は日本に留学していますが、世界の中に溶け込んでいるような体験をすることができます。お互いに違う文化を教え合いながら、国籍という壁を崩すこと。この1年間、日本という国について直接体験し、受け入れることができました。そして、大切な人たちに出会って、留学生活に適応することができました。